

『1億円ライター物語』

2002年5月の
章

山田夫妻

2002年5月17日（金）20時～翌朝5時（日給3333円、時給約370円）
*「当月の出勤日時」と「当月のバイト代1万円（交通費1万円込み）を、当月の出勤日数（3日間）で割った日給と時給」

とりあえずさあ、2002年5月17日（金）20時ってのが俺の正式なデストロンデビュー日時なわけよ。

花の4期生5人組の一人として。同期はAVスカウトマン、ホスト、プロボクサー、自称ギャル男、自称戦場特派員って感じ。

そして、123社長、708先輩、634先生（もしくは、アミーゴ社長、スパンキー先輩、町田先生って気分で、適当に呼び分けようかな）。後、3期生の女が2人かな。

コレが2002年5月時点のデストロンの全構成員である。

さて、デストロンはナニ屋さんでしょうか？

ヒント。1999年に創業した俺の正業、自称戦場特派員稼業の方が、3年経った2002年時点でも相変わらず絶賛開店休業状態のまま。

仕方なく始めて、3年近くになる副業も不景気のおおりで段々アレになってきたので、副業パート2としてデストロンを始めたって寸法よ。

副業パート1も副業パート2も一応、正業に関係のあるお仕事です。

尚且つ、10年後にこういうことを書ける職種を選んでいる俺。だからね、当時からコツコツとメモって、貴重な一次資料として全部取ってあるわけ、物語だけど。

だって正業がアレだから、副業くらい一粒で二度おいしくないかね。

正業については『12年前日記』をご参照あれ。副業パート2の『1億円ライター物語』はある意味、『10年前日記』だ。副業パート1については、『応募時代 20世紀&21世紀（仮題）』を乞うご期待！

ってどうでもいい宣伝で誤魔化して、数行前に気づいたけどそのままさりげなく流そうとしましたが、そーいや『1億円ライター物語』って題名に思いっきりライターって書いてあるじゃん。

それは、100円ライター！

って先に突っ込んでおいたから、100円ライターとライターを掛けて、1億円ライター。うまい！

ホントにうまいのは、物語ってつけたところなんだけどね。ま、コッチの話ですわ。「いや

いや、あくまで物語ですよ～。ちゃんと題名に書いてあんだろ」としか言わない宣言！

答え。デストロンはライター事務所屋さんでした。

だって、そう書いてあったもん、だぶん今は亡き『フロムA』に。

そうさ、事の発端は、すべて『フロムA』から。

なんかどっかで聞いたうまいことを言ってる俺みたいな流れになってきて、超不愉快！ 死ね、読んでんじゃねえよ、クズ野郎！

とまあ、そんな気分で立ち読みしてたわけさ、『フロムA』を、10年前、近所のコンビニ（コンビニエンスストアの略とかどうでもいいこと書き出したから、もう嫌になってきたみたいだから、一旦中断）。

さて、再開したのは、2012年5月21日（月）なわけですが、上記の中断部分にも色をつけつつ、続きといきますかの前に、なぜ再開が2012年5月21日（月）かと言わせて！

「十年一昔」作戦を決行中だからだよ。

つまり2002年5月のデストロンデーのちょうど10年後に更新していこうかと。

9年前のことだとまだアレだけど、10年前のことならまあいいかと思うじゃん。そんな一昔前のことにいちいち目くじら立てないで...「ホラ、お前が言えよ、言いたいんだろ」、「いやよ、恥ずかしい」、「ナニ、カマトトぶってんだ。ったく、じゃあ、仕方ないから一緒に、な?」、「うん」。「せ～の、チンコ立たせろ！」。

声も揃ったようですので、2002年5月のデストロンデーを紹介します。

- 2002年5月17日（金）20時～翌朝5時（3333円）。
- 2002年5月21日（火）13時～18時（3333円）。
- 2002年5月29日（水）13時～23時（3334円）。

ちなみに、

- 2002年4月25日（木）17時30分～18時30分、1次面接。
- 2002年5月13日（月）13時30分～14時、2次面接。

たかがバイト募集で、生意気に二次面接までやりやがって。1次面接から結構間が空いたのは、ちょうどGWで6泊7日で当時の女とベトナム旅行に行っていたから。

帰国したら、留守電がピコピコ光っていて、2次面接に来いと。「うるせえ、この野郎！ 気安く電話してくんなよ」とぶっちゃけ、この時点ではブッチする気満々でしたね、だって気分は

5月病。

ああ、ちなみにこのとき、2002年5月に携帯は持ってませんでしたね。周りは結構持っていたのではないのでしょうか。携帯持ってないくらいで、携帯屋の無料回し者に「遅れてる〜」ってびっくりされたから。

いやいや、厳密には携帯が流行り始めた1996年に1年間くらい持っていたもん、結論として「こんなもんいらねえな」と棄てたんだもん、最先端だもん、イヤだ、年齢がバレちゃう。

まあ、だいたいみんな携帯持ってて、公衆電話もまだ撤去されてなくてガラ空きだったから、電話の用があるときは目に付いた公衆電話からかければいいし、逆の場合、俺は絶対捕まらないから、どうでもいい用件も大事な用件も聞かずに済むと、俺の携帯公衆電話は便利だったなあ、着信が「公衆電話」=俺！

同期の元ホストに俺電から掛けたら、「もうホントは、公衆電話だと出ないんだから」と言われて、「おお、さすが元ホストっぽ〜い」と思った次第で、その後も元ホストに俺電から掛け続けたわけですがね。

でも、そういや、後でアミーゴ社長がもう使ってないというプリペイド携帯くれました。

確か、コンビニとかで3000円だか5000円だかのプリペイドカードを買って、暗証番号だか入れるとその金額分だけ一定期間使える。通話料金がバカ高いから、ほとんど受け専門で、にゃ〜、掛けるのは俺電こと公衆電話のままだった。

まだ身分証とかなくてもプリペイド携帯を買えて、犯罪のツールになっていたのはよい思い出。

なんで思い出だけでなく、克明な記録あるかと言うと全部記録してたから。

なんのためって、10年後にこういうのを書くために決まってるじゃ〜ん。そうじゃなきゃ、誰が馬鹿馬鹿しいメモなんていちいち残すかってんだ。

それに私って元々こういうの書くの好きな人じゃん、もう大好き！ 昔話を蒸し返してほじくりかえしたりひっくりかえしたり、もうくんずほぐれつ。

あくまで花の四期生の一員が、10年も前に垣間見たデストロン話ですから。

はなはだしい記憶違いにしらじらしい勘違い、とぼけて思い違い、悪意で人違いと何でもござれゆえ、実話のはずがなぜだか物語って名付けちゃう始末。

実話書いてたら自然と物語に、それが俺のノンフィクション、私小説風の。過去を懐かしみ美化する回顧録とはまったく別物ですが、まあ、その程度の想像力読解力というか、そのほうがバ

力でも理解しやすいなら、自伝、伝記、偉人伝とお好きにお呼び頂いて、どうでもいいで～す。

戻れ！

デストロンデーの日時の後の（）内に書いてあるお値段はその日のバイト代ですよ。

時給900円って『フロムA』には書いて、あ、そうそう、『フロムA』、『フロムA』。

ようやく話が繋がった、上の方のどっかに書いた、コレと。

「とまあ、そんな気分で立ち読みしてたわけさ、『フロムA』を、10年前、近所のコンビニ（コンビニエンスストアの略とかどうでもいいこと書き出したから、もう嫌になってきたみたいだから、一旦中断）」の続きね。

さて、『フロムA』によると、ってコレがよれないのよ～。

たぶん立ち読みで済ませたんだと思う。もし買ってたら、現物とってあるはずだもん、貴重な一発目の一次資料として。

俺の記憶によると、募集内容は、

「あのね、デストロンはライター事務所だよ。週プレ、ホットドックプレス、スパ、宝島、スコラなんかでがんばってお仕事してます。そうそう、時給は900円だぞ。後は...場所はイ・ケ・ブ・ク・ロ！ほんじゃあ、まあ」。

ってバカ丸出しな感じだった、ええ。

でも、履歴書と自己PRと作文と企画5本を郵送した。ホントだもん、コレは全部とってあるから無断転記してやる。

（ココが無断転記予定地。

お、ココか。

以下、2012年6月19日（火）の工事。

●履歴書

履歴書の左半分、名前だ住所だ電話番号だ学歴だ職歴だは省略ね。だって、男は右、右側ですよ、やっぱ履歴書と言え、右っしょ、右！

ちなみに、履歴書は『フロムA』に付属していたものか、コンビニに売ってる簡単な履歴書ね。

それにしても、転記するの面倒くせ～、まだ1文字も転記してねえ段階からですよ、奥さんッ！

奥さんッたって、アミーゴ社長のことじゃねえぞ。

そもそもなんで10年前の履歴書をいちいち転記しなきゃいけないんだ、スキャンのやり方知

らないから。

100点！ もうやるよ、やればいいんだろ、ヤリヤリ～。

あ、そうそう誤字脱字はもちろんのこと一字一句いじらずに転記しちゃうぞ、いくぞ、この野郎！

【履歴書の右側】

○得意な科目・分野

「ビルマ（現ミャンマー）の軍事政権に対して、50年近く反政府ゲリラ活動が続けている、少数民族カレン族についての分野を昔ちょっと知っていた」

○自覚している性格

「禁煙を何度も、何度もあきらめずに繰り返す、粘り強い、何事にもあきらめない、チャレンジスピリットを有する性格」

○スポーツ・クラブ活動・文化活動などの体験から得たもの

「小1から高3までの貴重な12年間で剣道一筋で消化し、一つのことを10年以上やっても、何も得るものはないと確信した」

○特技

「北穂高岳のDフェイスで岩登りをしている時、過って落下した場合はザイル（命綱）を確保しているパートナーに、「ケア」と叫んでどうにかしてもらうのだが、その「ケア」の音が大きくて、感情が入って、いいと言われた」

○志望の動機

「まず、第一に、昔、池袋3-51-7 メゾンドサンティエに住んでいたことがあり、御社の付近の地理に精通している点。第2に、本業ジャーナリスト（休業中）、副業小説家（細々）と言う恥ずかしい人生設計をしていることとは関係なしに、今しているバイト（結婚式などのビデオ撮影）」が不景気で、順調に減ってきているので、がんばって生きていく為に。第3に、を書くスペースがなくなりました」

○本人希望記入欄（特に給料・職種・勤務時間・勤務地・その他についての希望などがあれば記入）

「特にありませんので、ちょっとでも使って頂けると感激です。募集要項の25歳位迄に疑問を感じ、昨日お電話させて頂いたところ、とりあえず履歴書を送っていいとのことでしたので、1年程トウが立っていますが、応募させて頂きました」

○通勤時間

「約1時間（片道450円）」

○扶養家族数（配偶者を除く）

「0人」

○配偶者

「無」

○配偶者の扶養義務

「無」

○履歴書の欄外に

「末筆ながら、履歴書にあるまじき失礼なことを書き並べて申し訳ありませんでした」

ハイ、履歴書の転記は以上ね。

もうね、直したい部分も多々あれど、10年前の履歴書直してどうすんだって言い聞かせ、更にノンフィクションなのでそのまんま転記しておきましたとさ。

しかし、コレでよく採るなあ、さすがキチガイを見る目のある、アミーゴ社長。今デストロンのメンツを思っても、オエ～、キチガイ引きの良さはすごいと感心できる。ホントあんな連中、集めようと思っても集められないぞ。

それでね、江古田で開催される新人歓迎会の前、池袋にある事務所に新人の4期生5人がわざわざ集まらされたわけですが、そのときになんか5人の履歴書を回し読みするという初仕事をさせられまして、たぶん輪姦レイプがスムーズに行く練習かと思いますが、その際、プロボクサーに最後の一文はいらないでしょうとのご指摘を。

たぶんスポーツマンシップに反したのでしょうか、もしくはケンちゃんがパンチドランカーだったか。もしくは、同期のプロボクサーに、「最後のコレはいらないんじゃない」と言われたので、「おお、プロボクサーってぽ～い」と思った次第。

後、アミーゴ社長に、この近くに住んでいたから地理に精通しているってくだりが怖いよとほめられる。

そういや、篠さん、あ、ココじゃ、篠だっけ。面倒くせえけど、ちょっと上の方、見てくるわ。

あ、町田先生か。もう別に篠でよくねえ、って説法が言ってましたよ、篠さん。

んで、その634先生が後日、何かのエ口話の時、「ケアのくだりがおもしろかった」と。何かの原稿を見せたときに、「今のところ、履歴書が一番おもしろかった」てなエ口話も。

初恋が一番よかった論です、履歴書、こんな無難なもんですから。

さて、履歴書は文字制限などの縛りがある分、練って凝縮できますね。手書きだから文字自体でもアレできるし。なんでも作りこんで削ぎこんだら当然面白くなるわけで、でも履歴書のおもしろさは短距離走だから。100メートルの世界記録狙ってもいいですけど、それもちょっとねえ。だから長距離走、男ならゴールなき道なきマラソンっしょ。

好き嫌い、向き不向き以前に、履歴書って媒体に合わせる、パブーって媒体に合わせるって言うか、腹減ってきた。

もう今日（2012年6月19日（火））の工事はおしまい！ これ以上やってられるか、こんなドカチン仕事！

残りの工事は、「自己PR分（400字詰め原稿用紙2枚）」、「私の未来予想図（400字詰め原稿用紙3枚）」「企画案5本」、以上が1次面接用。

後、2次面接用に「もしも手元に一千万円があったら（400字詰め原稿用紙2枚）」、「風俗店リサーチ（400字詰め原稿用紙3枚）」と続く。

あのさあ、たかがバイトの面接でこんなに宿題出すなよ。こんなもんヤルなよ、10年前の俺も！ まあ、こんなもん、いつでもチョイチョイといくらでも書けるけど、大問題はですねえ、コレ、全部手書きってことですよ、10年後の新兵器コピペプレイも使えやしねえ。そして、更に遠のくヤル気さん、待って～、連れて逃げてよ～♪)

で、証明も済んだので（まだ済んでないけどね）、みんな大好き、銭の話ね。

『フロムA』には時給900円と書いてあったわけで、5月は3日間で計24時間労働だから、21600円貰えるはずが、1万円ポッキリ。しかも交通費名目で！

そういや、2次面接の後、交通費代わりってことで、500円のクオカードが支給された。どっかの編集部ってか、たぶんホットドックプレスの景品だか読者プレゼントなんだかだったのだろう。

2次面接が終わった後、アミーゴ社長にアイドルのクオカードをズラリと並べられて、「さあ、どれがいい」と。パッとあややを選んだら、「ワケを聞かせてくれ」と下衆な質問をされたので、「2枚あったから」と無難な回答をした覚えが。

このように10年後でも余計などうでもいい記憶がワラワラ出てきて、もちろん使用済みのあややのクオカード500円もひょっこり顔出して、まだまだネタが多すぎてなかなか先に進まな

いから、やっぱ20年後の方がいいんじゃないねえ。

ちなみに、あややは口止め料ね。1次面接の最後にアミーゴ社長曰く、「実は『フロムA』には時給900円って書いてあるけど、あくまで建前でもいいから時給を書くのが『フロムA』のアレだから仕方なく、ね？ やっぱ時給換算できる仕事じゃないから、時給制じゃなくて、とりあえず月5万円で、あ、君、合格ね」だってさ。

まだ当時26歳だったので、じゃあ、最初から2次面接免除しろよと思ったはず。いい思い出だね。

でも、5人いるから週1くらいでいって話だったので、週1ペースだと月に4、5日で月5万なら、1日約1万なら仕方ないかと。

かけもちバイトを絶賛奨励されていたし。

後から知ったが同期5人のうち、毎日のように出ていたのもいたみたいだが、それでも上限は5万だったみたい。

それがよう、月に3日もデストロンデーで働いたのに1万円ポッキリとは！ しかも往復の電車賃を引いたら、3日で約7000円！ 1日働いて2300円って、アンタ！ 時給換算は怖いから後で！

まあ、内1日は歓迎会だったからいいけど。

尚、交通費というか、電車賃、厳密には腐れJRのバカ高運賃には昔からうるさい男ですが（キセル王？ なんですかソレ？）、当時住んでいたところの最寄り駅は、東急東横線の白楽駅って横浜くんだり。

お家からチャリで白楽駅まで5分（タダ、じゃないか。たまに駅前の放置自転車として撤収されるので、取り返すのに罰金を）。普通しか停まらないから、近くの菊名駅で急行か特急に乗り換えて、渋谷駅まで30分ちょい（260円？）。

渋谷で省線、いや、国鉄、いやいや、今で言うJRに乗り換えて、あ〜、イヤになってきた。渋谷から池袋が15分（150円？）。

更に池袋駅から徒歩15分（タダ）と、1時間30分はかかる（片道410円？、往復820円？）。

でも、たまたま、デストロン事務所は俺が学生時代に住んでいたマンションのすぐそばのマンションの一室だったってもう書いたっけ。知らん。お前、ちょっと見てこいよ、どうせヒマだから、こんなん見てんだろ。

後日、アミーゴ社長部屋からなんとなく履歴書をコッソリともち無断で引き取った際、「ヨコ

ハマ遠い」と町田先生（チバの方が遠い出身）のコメントというか、走り書きが書いてありました。

これまた後日、町田先生に「ちゃんと横浜くんだりから池袋まで通い続けて偉い、天才、大好き」と褒められたので、町田先生が社長だったらきっと採用されなかったでしょう、「ヨコハマ遠い」理由で。

後に、デストロン権力闘争の果てに、町田先生が興すことになるライター事務所は近道的エロい名前だったし。

そんでもって、ココだけの話、町田先生のママは、髪の毛をピンクにしたり、ムラサキにしたりと...なんか雲行きがアレなので、唐突にようやく2002年5月17日（金）の話です。

コッチの雲行きもアレですよ。歓迎会当日、ポツポツと歓迎の雨が降ってましたから、真っ赤なね。

あ〜、嘘ついた、いけないんだいけないんだ。

よし、そろそろ、また休憩（まだ続くのかよ）。

●捨て（これは教育系のスパンキー先輩が、「書いていないと思ったのも消さずに残しておくように」と教えてくれました。）

雑誌は読んでません。

雑誌読まない人だから、デストロン前後は。デストロン中しか雑誌って読んでないなあ。本派だから、雑誌の連載がまとまった単行本みたいなのは読むけどって感じ。

かつて池袋に実在したライター事務所の壮大なる物語って書いたから、実在の人物とか名称とかとは一切関係ございませんことよ、オホホ〜、オッホホホ〜、ヤッホホホ〜〜〜。

2002年5月21日（火） 13時～18時（日給3333円、時給約666円）

そんな、まだ2002年5月17日（金）の話が終わってないのに、先に2002年5月21日（火）の話をするなんて、はしたない真似はできません、順番よ、順番、横入りしないの、メッ！

小学校で習ったでしょ、先の人が終わるまでおとなしく待つ、って正しい輪姦マナーを（2012年5月21日（月）記）。

2002年5月29日（水）13時～23時（日給3334円、時給約333円）

そんな、まだ2002年5月17日（金）の話も、2002年5月21日（火）の話も全然終わってないのに、先に2002年5月29日（水）の話をするなんて、はしたない真似はできません、順番よ、順番、横入りしないの、メッ！

小学校で習ったでしょ、先の人が終わるまでおとなしく待つ、って正しい輪姦マナーを（2012年5月29日（火）記）。

『1億円ライター物語 ～2002年5月の章～』（ちなみに、パブーの4万冊目ゲット記念作）

<http://p.booklog.jp/book/40000>

著者：山田夫妻

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yamadafusai/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/40000>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/40000>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.